

## 近世文化展示室 守屋壽コレクション「長崎とオランダ・中国」展示資料一覧

第40回：令和7年8月22日（金）～10月19日（日）

No.	資料名	形状	時代・時期	説明
1	長崎図（市中絵巻）	巻子	江戸時代 18世紀頃	唐人屋敷が建設される元禄2年（1689）以前の長崎の町並を懷古的に描いた作品。コレクションNo.748
2	肥前長崎図	額装	享和元年（1801）	唐人屋敷が建設された後の長崎を描いた木版図。コレクションNo.369
3	饗宴の図	一紙	江戸時代 18～19世紀	唐人屋敷内の宴会の様子を紹介した長崎版画。コレクションNo.701
4	蛇踊囃方	一紙	江戸時代 18～19世紀	毎年正月15日に唐人屋敷で行われた蛇踊りの楽隊を描いた長崎版画。コレクションNo.702
5	出島之景	額装	1832年以降	シーボルトの『日本』に掲載された、長崎湾の眺望を描いた風景画。コレクションNo.155
6	阿蘭陀船図	軸装	江戸時代末期	船の大きさや構造などの情報が書き加えたオランダ船図。コレクションNo.457
7	オランダ人饗宴の図	折本	江戸時代 18～19世紀	長崎版画を集めた「画套」のうち、出島でのオランダ人の食事の様子を描いたもの。コレクションNo.609
8	阿蘭陀人饗宴図版木	版木	江戸時代 18～19世紀	No.7の長崎版画とほぼ同図の版木。コレクションNo.658
9	オランダ商館長江戸参府	額装	1727年初版	ケンペルの『日本誌』に掲載された、元禄4年（1691）のオランダ商館長一行の江戸参府の行列を描いた図。コレクションNo.150
10	地球図	額装	寛政5年頃 (1793)	オランダ商館医ステッツェルの持参図を基に、司馬江漢が製作した国内初の銅版世界地図。コレクションNo.230
11	解体新書	冊子	安永3年 (1774)	ドイツ人クルムスの解剖書『ターヘル・アナトミア』のオランダ語版の翻訳書。コレクションNo.403
12	蛮語箋	冊子	寛政10年成立 (1798)	『解体新書』の20年余り後に成立した、オランダ語の単語と簡単な会話文を掲載した小辞典。コレクションNo.593
13	紅毛雜話	冊子	天明7年 (1787)	蘭学医・桂川甫周が集めたオランダの情報を、弟の森島中良がまとめた書物。コレクションNo.592
14	長崎土産	冊子	弘化4年 (1847)	長崎に関する名所・名物を、豊富なイラストや文章で紹介した観光案内書。コレクションNo.418
15	日本帝国図	額装	1715年	オランダ人東洋学者のレランドが、石川流宣の「日本海山潮陸図」を基に製作した銅版の日本地図。コレクションNo.95
16	日本帝国図	額装	1727年	17世紀末にオランダ商館医として来日したケンペルが、帰国後に「新撰大日本図鑑」などを基に製作した日本地図。コレクションNo.98